

鹿児島市船舶事業経営計画（平成29年度見直し）素案に係るパブリックコメント手続の実施結果一覧

1. 意見の募集期間 平成29年11月22日（水）～平成29年12月21日（木）

2. 意見の提出者数・件数 15人、92件

3. 意見の対応状況

（単位：件）

項目 対応区分	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	計
	1 計画の策定と見直しについて	2 計画期間と計画の位置付け	3 船舶事業を取り巻く環境	4 船舶事業のこれまでの取組み	5 船舶事業の現状と課題	6 将来推計	7 経営理念及び基本目標、重点取組等	8 計画最終年度における船舶事業のあるべき姿	9 重点取組項目	10 重点取組項目に基づく具体的方策	11 投資・財政計画	12 計画の推進	その他	
A. 意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	1	-	4
B. 意見の趣旨等は、計画素案に盛り込み済みのもの	-	-	-	1	-	-	7	1	6	9	-	1	8	33
C. 計画案には盛り込まないもの	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
D. 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの	-	-	-	-	-	-	2	-	6	10	-	-	2	20
E. その他要望・意見等	-	-	-	1	1	1	-	-	3	9	-	-	19	34
計	1	0	0	2	1	2	10	1	16	28	0	2	29	92

## 4. 市民等からの意見等の概要及び対応状況

項 目	①	1 計画の策定と見直しについて
	②	2 計画期間と計画の位置付け
	③	3 船舶事業を取り巻く環境
	④	4 船舶事業のこれまでの取り組み
	⑤	5 船舶事業の現状と課題
	⑥	6 将来推計
	⑦	7 経営理念及び基本目標、重点取組等
	⑧	8 計画最終年度における船舶事業のあるべき姿
	⑨	9 重点取組項目
	⑩	10 重点取組項目に基づく具体的方策
	⑪	11 投資・財政計画
	⑫	12 計画の推進
	⑬	その他

対応区分	A. 意見の趣旨等を反映し、計画案に盛り込むもの
	B. 意見の趣旨等は、計画素案に盛り込み済みのもの
	C. 計画案には盛り込まないもの
	D. 具体的な事業の実施にあたり参考とするもの
	E. その他要望・意見等

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
1	① 1 計画の策定と見直しについて	「本市の船舶事業は、当初計画策定時においては、～」を「本市の船舶事業は、鹿児島市船舶事業経営計画の当初計画策定時においては、～」とした方が分かりやすいのではないかと。	ご意見を踏まえ、「本市の船舶事業は、当初計画策定時においては、～」を「本市の船舶事業は、鹿児島市船舶事業経営計画の当初計画策定時においては、～」に改めます。	A
2	④ 4 船舶事業のこれまでの取り組み	桜島フェリーターミナル建替えにより、年配の方など弱者がこれまで以上にもしっかり使い勝手が良くなると大いに期待しています。	賛同のご意見として承ります。 桜島港新フェリーターミナル建替え時における取組みとして、エレベーター、上下エスカレーター、多目的トイレ、授乳室等バリアフリー化の向上を図るとともに、陸上交通機関との乗り継ぎ等について、安全で快適な歩行者動線を確保しております。	B
3		フェリーターミナルの建替えで電気室・発電機室の屋上設置とのことだが、高さは大丈夫か。	桜島港新フェリーターミナルは、4階建てで電気室等は4階に設置することとしており、他の施設や景観に影響がないように設計・施工しております。	E
4	⑤ 5 船舶事業の現状と課題	東九州自動車道の延伸は、当初計画策定時点で分かっていたはず。業務量の減少は噴火警戒レベルの引上げによる風評被害などの影響が大きいと思います。	ご意見として承ります。 業務量の減少は、東九州自動車道の延伸や大隅縦貫道の開通のほか桜島の火山活動など船舶事業を取り巻く環境が大きく変化したことによるものと考えております。	E
5	⑥ 6 将来推計	「6 将来推計」の表から27年度が表から外されているのは、桜島の噴火警戒レベルが引き上げられたことにより、推計の基礎データとして参考にならないからか？	ご意見を踏まえ将来推計の表に追加します。	A

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
6	⑥ 6 将来推計	26年度の運航距離に比して34年度は約20%運航距離が削減される状態から、単純に航送車両台数を算出すると、117万台程度になるが、推計値の130万台を観光客の増加で実現できるだろうか？	市の観光統計によると、中国などアジア各国からの観光客が増加傾向にあり、今後NHK大河ドラマや東京オリンピック・パラリンピックの開催などを契機に、国内外からさらに多くの観光客が訪れるのではないかと見込んでおります。	E
7	⑦ 7 経営理念及び基本目標、重点取組等	増収対策は、それぞれ必要なことと思います。	賛同のご意見として承ります。	B
8		人件費の抑制は必要と思います。	賛同のご意見として承ります。	B
9		職員研修の充実に関しては、笑顔で乗客の立場に立った視点で接客サービスを行って欲しい。	ご意見については、具体的方策「職員研修の充実」の中で接遇マナーなどについて盛り込んでおります。	B
10		バリアフリー化はして欲しい。	ご意見については、具体的方策「バリアフリー化の推進」の中で施設のバリアフリー化について盛り込んでおります。	B
11		嘱託職員の正規職員登用は、働く意欲を高めて良い事です。	ご意見については、具体的方策「嘱託職員の正規船員への登用」の中で、嘱託職員の正規船員への登用について盛り込んでおります。	B
12		嘱託船員の正規雇用化は固定経費化につながるので、慎重に対応する必要があります。	ご意見については、具体的方策「嘱託船員の正規船員への登用」の中で登用の考え方について盛り込んでおります。	B
13		安全運航体制は、桜島フェリーの根幹をなすものであり、危機管理体制を強化しつつ、乗客の安全・島民の安全・安心に対応するようお願いしたい。	ご意見については、具体的方策「安全運航の推進」や「危機管理体制の強化」などの中で、具体的に盛り込んでおります。	B
14		基本目標（1）安全運航体制の推進の「ア安全運航の推進等」で、「安全で快適な」とありますが、「安全で」だけでよいのではないかと。「快適」は不要。「安全で効率的な事業運営」で可と思います。	本市船舶事業は、「安全で快適な運航、効率的な事業運営」を経営理念にしております。	C
15		販売促進活動では、観光客向けの船内販売の強化が欲しい。	販売促進活動については、具体的方策「販売促進活動の推進」の中で船舶局のマスコットキャラクターのグッズなど外国人観光客等幅広い層に購入してもらえるよう商品開発に努めることとしており、ご意見については、今後の取り組みに当たっての参考にさせていただきます。	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
16	⑦ 7 経営理念及び基本目標、重点取組等	広告収入の拡大では、観光客向けの強化が欲しい。	広告収入の拡大については、具体的方策「広告収入の拡大」の中で広告代理店や広告主等に対し、船舶局の広告媒体の魅力をこれまで以上に情報発信していくとともに、新たな広告媒体について検討することとしており、ご意見については、今後の取り組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
17	⑧ 8 計画最終年度における船舶事業のあるべき姿	具体的方策は、短期的視点ではなく、継続的に実施することで桜島フェリーの利便性や魅力向上の方策をもっと考えて欲しい。	今回の見直しにより、計画最終年度である平成34年度に、船舶事業のあるべき姿をビジョンとして設定しております。素案に記載した各具体的方策は、ビジョンを達成するために取り組むべきものとして中長期的な視点で検討したものです。	B
18	⑨ 9 重点取組項目	基本目標（1）安全運航体制の推進の「ア安全運航の推進等」の「経営状況や社会情勢を見極めながら、運航ダイヤの改定を検討します。」を「経営状況や社会情勢を見極めながら、適切な運航ダイヤを検討します。」としてはどうか。	ご意見を踏まえ、基本目標（1）安全運航体制の推進の「ア安全運航の推進等」の「経営状況や社会情勢を見極めながら、運航ダイヤの改定を検討します。」を「経営状況や社会情勢を見極めながら、適切な運航ダイヤを検討します。」に改めます。	A
19		料金徴収所はクレジットカード、IC化が欲しい。	ご意見については、具体的方策「運賃徴収における利便性、効率性の向上」の中で、クレジットカードなどへの対応や料金徴収所の整備等について盛り込んでおります。	B
20		クレジットカードやICカードの使用は、便利だと思います。	ご意見については、具体的方策「運賃徴収における利便性、効率性の向上」の中で、クレジットカードなどへの対応や料金徴収所の整備等について盛り込んでおります。	B
21		基本目標（2）乗客サービスの向上について、モニター制度は大いに推進して欲しい。	ご意見については、具体的方策「利用者ニーズの把握及び迅速な対応」の中で、モニター制度の活用について盛り込んでおります。	B
22		フェリーターミナルのコミュニティスペースは、これから人口減少もあり、乗客だけでなく地域の人達も集える場所にして欲しい。	ご意見については、具体的方策「桜島港新フェリーターミナルの活用」の中でコミュニティスペースなどの活用について盛り込んでおります。	B
23		高速道路よりフェリーの方が疲れにくいし運転も楽と思ってもらうためにも乗客サービスの向上は重要である。そのためにも乗船データの分析は最重要課題である。ゴールデンウィーク、お盆、年末年始などの繁忙期対策で乗客の満足感をUPする取組が必要だと思います。	ご意見については、具体的方策「利用者ニーズの把握及び迅速な対応」の中で、乗船データの活用について盛り込んでおり、繁忙期においては、これまでの乗船データに基づき、必要に応じて臨時便を出すなど適切に対応しております。 今後も引き続きお客様の視点に立ったサービスの提供に取り組んでまいります。	B
24		大隅半島向けの住民の足、観光客の利用増に向け大隅各自治体との連携は必須である。重点取組項目に具体策の記載が欲しい。	ご意見については、具体的方策「交流人口増時代における取組み」の中で、大隅半島との連携について盛り込んでおります。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
25	⑨ 9重点取組項目	資金の確保に関しては、料金値上げしても良いと思います。	料金については、具体的方策「原価主義に基づく適正な運賃等の設定」の中で、原価主義に基づく適正な運賃等を設定することを基本に経営状況や社会情勢、各種交通機関等の状況等を参考にしながら検討することとしており、ご意見については、今後の取り組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
26		これから人口も少なくなるし車も小型化し、車を持たない、持たない時代に入り、収入は少なくなると思います。船舶数も減らし、運航時間の間隔もあっても良いと思います。	船舶数や運航時間の間隔については、具体的方策「運航体制等の見直し」の中でこれまでの輸送実績を踏まえ、輸送量を確保しつつ、より効率的な運航を行うために検討することとしておりご意見については、今後の取り組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
27		船舶燃料の価格上昇等厳しいものがあるが、運航ダイヤの時間帯の見直し等はもう動かしようがないのか。	運航ダイヤについては、具体的方策「運航体制等の見直し」の中でこれまでの輸送実績を踏まえ、輸送量を確保しつつ、より効率的な運航を行うために検討することとしており、ご意見については、今後の取り組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
28		船舶事業による収益を維持しつつ、健全な経営を継続できるようにしてほしい。 運賃の改定についても将来的な予測を行いつつ、時期を見て改定することも必要と思う。	ご意見については、具体的方策「原価主義に基づく適正な運賃等の設定」の中で、原価主義に基づく適正な運賃等を設定することを基本に経営状況や社会情勢、各種交通機関等の状況等を参考にしながら検討することとしており、ご意見については、今後の取り組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
29		運航ダイヤも以前は紙を見なくても何時と分かりやすかったが、今はバラバラだったりするので、非常に不便を感じる。待ち時間も長くなり、乗り遅れると本当に大変で時間がもったいない。	運航ダイヤについては、具体的方策「運航体制等の見直し」の中でこれまでの輸送実績を踏まえ、輸送量を確保しつつ、より効率的な運航を行うために検討することとしており、ご意見については、今後の取り組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
30		運賃を上げられるのは、困る。島内にいて、船で渡るのにお金がかかり過ぎると出かけるのにもったいなくなり、出かける回数が減ってしまう。通勤する人も車を2台持ったり、駐車場代がかなりかかるなど、金銭面の負担も大きいので、その人たちへの配慮を考えるべきです。	フェリーの運賃については、具体的方策「原価主義に基づく適正な運賃等の設定」の中で、原価主義に基づく適正な運賃等を設定することを基本に経営状況や社会情勢、各種交通機関等の状況等を参考にしながら検討することとしており、ご意見については、今後の取り組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
31		6隻体制から5隻体制になるとのことを考えておられますが、1隻はどうなるのでしょうか。	29年度から5隻体制となっており、1隻は売却したところです。	E
32		船舶数を減らして、財政状況を維持（横ばい）使用とされているように見えますが、夢のない姿に写ります。よりみちクルーズなどもやっているようですが、限界ではないでしょうか。 観光はあまり意識せず、輸送に絞っていいと思います。その方が人件費なども節約できるのではないのでしょうか。	ご意見として承ります。 桜島・錦江湾の魅力を活かしたよりみちクルーズなどを実施することで、国内外からの誘客促進を図り、本市の観光振興に寄与してまいりたいと考えております。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
33	⑨ 9重点取組項目	船舶の更新よりも1台1台のメンテナンスをしっかりと行い、長く使う方が良いと思う。 座面をきれいにしたり、テーブル等の掃除等毎日使う場所なので、きれいな方が観光客も喜ぶと思う。 サクラフェアリー等バリアフリーというが、あんな乗りにくい船はない。造る時に乗客が乗りやすいようにして欲しい。	ご意見として承ります。	E
34	⑩ 10重点取組項目に基づく具体的方策	桜島フェリーだけでなく、錦江湾の素晴らしさを旅行業者とか新聞社にイベントの情報を流し、宣伝してもらってはどうか。	ご意見については、具体的方策「桜島フェリー及び桜島等に関する情報発信の充実」の中で、様々な媒体を活用した情報発信について盛り込んでおります。	B
35		東九州自動車道の開通に伴う航送車両の減少によって、収支をカバーするためには、航送料金の収受見直しが不可欠です。現在桜島側で料金収受を行っているが、下船時には車の渋滞が発生している。 今後、①ICカードを活用した料金の自動収受（特に夜間の自動収受の導入）、 ②フェリー船内に券売機の設置を検討すべき と思います。	ご意見については、具体的方策「運賃徴収における利便性、効率性の向上」の中で、クレジットカードなどへの対応や料金徴収所の整備等について盛り込んでおります。	B
36		安全運航の推進・サービスの提供を維持しつつ、さらなる増収対策に向けての施策を進めるよう取り組んで欲しい。 また、増収が望めるイベントなど広く意見を募集するのも一案かと思えます。	賛同のご意見として承ります。	B
37		健全な機能を備えた船舶・設備への見直しが必要だと思えます。	ご意見については、具体的方策「救難船舶としての機能充実」や「環境等に配慮した施設の整備」の中で、桜島フェリーに求められる機能やバースの整備などについて盛り込んでおります。	B
38		老朽化による事故が起きないように安全運営が必要だと思えます。	ご意見については、具体的方策「環境にやさしく経済性を考慮した新船の建造」の中で、船舶の保守整備などについて盛り込んでおります。	B
39		利用者の増加傾向に対する安全対策が必要だと思えます。	ご意見については、具体的方策「安全運航の推進」の中で、安全運航を維持するための業務体制等について盛り込んでいるほか、利用者が安全で快適に利用できるよう施設のバリアフリー化を進めます。	B
40		フェリーの機能を現代的に改め、エレベーターの設置は利用者の利便性向上につながり結構なことだと思えます。	ご意見については、具体的方策「救難船舶としての機能充実」の中で、桜島フェリーに求められる機能について盛り込んでおります。	B
41		交通事情の変化は大隅半島の利用者も変化すると思えますが、フェリーを生活の足とする桜島の方のためには、防災に不可欠のものと思えます。安全無事を第一に運航して欲しい。そのために、堅牢であらゆる機能を具備した船舶を保有するための予算投入は不可欠です。	ご意見については、具体的方策「救難船舶としての機能充実」や「環境にやさしく経済性を考慮した新船の建造」の中で、桜島フェリーに求められる機能や新船建造について盛り込んでおります。	B

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
42	⑩ 10重点取組項目に基づく具体的方策	船舶事業だけでなく、東九州自動車道や大隅縦貫道を組み合わせた観光プランをもっとアピールすべきと考えます。 実際、桜島・大隅地域の人口は減っているが、外国人を含めて観光客は増えているのがはっきり読み取れます。	ご意見については、具体的方策「交流人口増時代における取組み」の中で、大隅半島との連携について盛り込んでおります。	B
43		安全運航やダイヤの見直しについては、24時間体制は必要ないと思います。夜間は不要と思います。	安全運航やダイヤの見直しについては、具体的方策「運航体制等の見直し」の中でこれまでの輸送実績を踏まえ、輸送量を確保しつつ、より効率的な運航を行うために検討することとしており、ご意見については、今後の取組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
44		船内にWi-Fiを設置するのも良いと思います。	第二桜島丸については、29年度中の設置を予定しておりますが、他の船舶への設置については、利用状況等を踏まえ検討することとしており、ご意見については、今後の取組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
45		四季ごとに、桜島フェリー感謝祭を地域生産者、飲食関係者と共催でコミュニティスペースやイベント広場、乗船に支障のない駐車場を活用し、桜島マルシェを開催し、桜島フェリーの利用客増を図ってはどうか。	コミュニティスペース等の活用については、具体的方策「桜島港新フェリーターミナルの活用」の中で、コミュニティスペースやイベント広場を市民等によるイベントに活用することで、地域の活性化とともに桜島フェリーの利用促進を図ることとしており、ご意見については、今後の取組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
46		運航ダイヤに関しては、通年朝9時台から午後3時台までは1時間に3便（20分間隔）若しくは、2便（30分間隔）にしたらどうか。 また、通勤・通学の少ない土曜日・日曜日・祝日の朝6時台から9時台は1時間に3便若しくは2便にする。「日祝運休」の便を設けても良いのではないか。	運航ダイヤについては、具体的方策「運航体制等の見直し」の中でこれまでの輸送実績を踏まえ、輸送量を確保しつつ、より効率的な運航を行うために検討することとしており、ご意見については、今後の取組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
47		船舶が老朽化しているのだったら、太陽光で動くハイブリッド船舶を採用してはどうか。 リチウム電池を組み合わせたハイブリッドもあるが。 ハイブリッド船を試験的に使えないだろうか。	ハイブリッド船舶の採用については、具体的方策「環境にやさしく経済性を考慮した新船の建造」の中で、環境対策や燃料費節減につながるよう自然エネルギーを含めた動力対策を検討することとしており、ご意見については、今後の取組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
48		電子マネー（WAON、NANACO）など利用できるようにして欲しい。Tポイントも貯められたら良いな。PONTAも欲しい。	電子マネーについては、具体的方策「運賃徴収における利便性、効率性の向上」の中で、クレジットカードなどへの対応などとともに検討することとしており、ご意見については、今後の取組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
49		英語や中国語といった語学の習得とか、やさしい日本語が使えたら良いと思います。手話も使えたら幅広い対応が出来ると思います。	利用者への幅広い対応については、具体的方策「職員研修の充実」の中で接客マナーなどの研修を行うこととしており、ご意見については、今後の取組みに当たっての参考にさせていただきます。	D

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
50	⑩ 10重点取組項目に基づく具体的方策	桜島で椿油を桜島の特産品にするため、椿の栽培に取り組んでいる。鹿児島市内から桜島の椿園まで軽トラックで通っている。フェリーの回数券を購入して対応していますが、椿油を販売してもフェリー代に消えてしまう。桜島を活性化するために頑張っている人を支援して欲しい。 桜島フェリーを使えば使うほど安くなるシステムづくりをして欲しい。	フェリーの運賃については、具体的方策「原価主義に基づく適正な運賃等の設定」の中で、原価主義に基づく適正な運賃等を設定することを基本に経営状況や社会情勢、各種交通機関等の状況等を参考にしながら検討することとしており、ご意見については、今後の取り組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
51		総合計画のうるおい環境政策に絡めて、桜島港に着く直前にだれの目にも飛び込んでくるコスモスや紅葉、桜など四季に合わせた花が満開に咲き誇るなど感動を与えるような演出をしてはどうか。	ご意見については、具体的方策「環境等に配慮した施設の整備」の中で、周辺環境との調和や、海からの眺望に配慮した景観形成を図ることとしており、ご意見については、今後の取り組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
52		深夜時間帯などの便数を減らして経費を削減し、その分をクルーズ船や土日利用客への利便性向上に回して利用者増につなげるのが良いと思います。実績調査などを踏まえて策定されていると思うが、利用者増（特に大型観光バスなど）の施策などを検討して欲しい。	深夜時間帯の便数については、具体的方策「運航体制等の見直し」の中でこれまでの輸送実績を踏まえ、輸送量を確保しつつ、より効率的な運航を行うために検討することとしており、ご意見については、今後の取り組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
53		「料金徴収所」はtollgate(トールゲート)としたらどうでしょうか。	ご意見として承ります。	E
54		フェリーの中で地元の物販を許可して、販売者から手数料をいただけないか。	ご意見として承ります。 なお、桜島港新フェリーターミナル内のコミュニティスペースやイベント広場で市民等による物販等に活用していただくこととしております。	E
55		フェリー船内に特産品、桜島大根や焼酎地元の消費を展示し、売店で販売、発送できないか。	ご意見として承ります。 なお、桜島港新フェリーターミナル内のコミュニティスペースやイベント広場で市民等による物販等に活用していただくこととしております。	E
56		船内のテレビはCMだけ流し、(焼酎や飲食店等)宣伝料をいただくようにしてはどうか。地元の人には知っていても、観光客は知らないことばかりで助かると思います。	ご意見として承ります。 船内での広告については、具体的方策「広告収入の拡大」の中で、新たな広告媒体について検討してまいります。	E
57		情報化の共有化では、隣のかごしま水族館との連携で、食事を出す所を鹿児島港フェリーターミナル内にできないか。 近くに若者用のハンバーガー店はあるが、年配の食堂がない。 連休、夏休み等水族館は車の大行列ができています。 鹿児島港フェリーターミナルの活用を考えてください。	ご意見として承り、機会がある時に鹿児島港フェリーターミナルの管理者である県に申し伝えます。	E
58		大隅半島でイベント等が開催された場合、午前中は鹿児島側で、夕方は桜島側で車の大渋滞が発生して道路にあふれている。乗船待ち駐車場に入るまでは、ガードマン等の誘導も無く一般道に渋滞が発生し、非常に危険である。2018年度は、「大河ドラマ西郷どん」も放送されることから、県外からの観光客も増加すると思われるので、誘導等何らかの対策が必要であると思います。	ご意見として承ります。 イベント時には、警備員を増員するなどの対策を取っているところですが、今後も必要に応じて、誘導等の対策を検討してまいります。 また、繁忙時は、必要に応じて、臨時便を出すなど混雑緩和に努めてまいります。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
59	⑩ 10重点取組項目に基づく具体的方策	新造船同様燃料も入札という方法で決めているのだろうか。	燃料の購入については、入札で行っております。	E
60		防災の面では、いざという時にフェリーに集中するのではないですか？島内の人には他の船舶で避難するように徹底されているのでしょうか。避難港も活用した小型船舶の活用プランもあっても良いのではないのでしょうか。	ご意見として承ります。	E
61		噴火対策は訓練を重ねておられますが、台風対策はどうなっていますか？	台風対策については、具体的方策「危機管理等の体制整備」の中で、台風対応マニュアルを定めるなど非常時の体制について盛り込んでおります。	E
62	⑫ 12計画の推進	経営計画推進委員会は、毎年5月に開催されるが、当年度分の進捗状況を11月頃に把握した方が良いと思います。	ご意見を踏まえ、「12計画の推進」の「(1)推進体制」の標準的なスケジュールを修正します。	A
63		PDCA等は、とても良い事なのですが、ホームページで公表して、透明性があるように続けて欲しい。	ご意見については、「12計画の推進」の中で、PDCAサイクルに基づいた事業評価を実施、公表などについて盛り込んでおります。	B
64	⑬ その他	鹿児島市の船舶事業は、独立採算制です。少しでも市民の税金を追加することなく、利益を出して、運営できるように事業者、会社として運営して欲しい。 これからは、人口減少や高齢化になり外出しなくなるので、それを観光旅行者に補ってもらってはどうか。	賛同のご意見として承ります。	B
65		人・物の運搬量が増えて収入が減るという実状、支出が多いという確固たる理由があるわけなのですが、そこを色々な工夫や努力で少しでも埋め、黒字へと転換して欲しい。そして息の長い市民の足として活躍して欲しい。	賛同のご意見として承ります。	B
66		船舶事業収益に比して、事業経費が恒常的に上回っている状態は改善の必要があると思います。	ご意見については、基本方針「経営健全化の推進」の中で、増収対策や経費削減策など具体的方策を盛り込んでおります。	B
67		経営状況の推移、業務量、原油価格、財政状況を踏まえ、将来推計を示された数値のとおり、経営理念・基本目標・重点取組項目に沿って目標実現を目指して欲しい。	賛同のご意見として承ります。	B
68		厳しい環境におかれていますが、桜島フェリーとしての安全運航を継続しつつ、島民避難などの災害発生時の緊急対応にも支障がないよう乗組員をはじめ船舶局職員が取り組まれることを望んでいます。これからも乗って気持ち良いフェリーを目指して頑張ってください。	賛同のご意見として承ります。	B
69	大隅半島の交通事情と人口減、桜島火山活動などについて、確たる見通しに基づく対応策を考えて、健全運営して欲しい。	賛同のご意見として承ります。	B	

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
70	⑬ その他	桜島を観光する人が増え、さらに安全なフェリー運航を是非頑張ってください。	賛同のご意見として承ります。	B
71		需要への計画がしっかりしていてうれしいです。	賛同のご意見として承ります。	B
72		難しいことは分かりませんが、今後存続していくには、運賃の値上げしかないと思います。今まで以上のサービスができるよう頑張ってください。	運賃については、具体的方策「原価主義に基づく適正な運賃等の設定」の中で、原価主義に基づく適正な運賃等を設定することを基本に経営状況や社会情勢、各種交通機関等の状況等を参考にしながら検討することとしており、ご意見については、今後の取り組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
73		現在、桜島フェリーは主に森林ボランティアで桜島の植栽地に自転車に乗ったまま土曜日か日曜日に雨の日や用事の無い日以外は利用しています。往復540円です。 以前は、ほとんどが鹿児島市内側の駐輪場に自転車を置いて行っていたが、時間効率を考え、今は自転車に乗ったまま利用しています。共同作業日は自家用車で行く他のボランティア仲間を桜島側で迎え、植栽地までピストンで送り迎えしています。 運賃が値上げになれば、さらに工夫するか、桜島での活動をやめにする案も考えなければならないかもしれません。くるくるバスなどは期待したいところです。	フェリーの運賃については、具体的方策「原価主義に基づく適正な運賃等の設定」の中で、原価主義に基づく適正な運賃等を設定することを基本に経営状況や社会情勢、各種交通機関等の状況等を参考にしながら検討することとしており、ご意見については、今後の取り組みに当たっての参考にさせていただきます。	D
74		厳しい経営環境のなか、計画の見直しは必要やむを得ない状況にあると思う。 人口、高速道路などの問題については、今のところ抜本的な対策は不可能かと思う。	ご意見として承ります。	E
75		東九州自動車道と大隅縦貫道が完成しつつある状況において、乗船車両数が縮減するリスクは確かにあるが、実際鹿屋を往復する必要がある立場からすると、時間距離・費用があまり変わらない分高速道路を利用する地元住民はそれほど多くないと思います。	ご意見として承ります。	E
76		クルーズ船がマリンポートに寄港する日に、マリンポートの東側もしくは北側に桜島フェリーを待機させておいて、それに一部の観光客を乗せ、桜島方面、垂水方面へ行き、大隅半島の観光に行ってもらおう。帰りは、桜島フェリーでマリンポートに来るか、桜島フェリーで鹿児島市内経由でマリンポートに来るか、薩摩半島と大隅半島を回遊する案です。 もう一つは、マリンポートから遊覧ヘリを飛ばす案です。	ご意見として承ります。	E
77		11月22日の新聞に桜島フェリー値上げ検討の記事が出ていて、良かった。 時には、市民の皆さんにも内容を知らせることは大事です。	ご意見として承ります。	E
78	新しくできる桜島港フェリーターミナルには、エレベーター及び洋式トイレは設けない予定ですか？	桜島港新フェリーターミナルには、エレベーターを設置します。また、洋式トイレは、各フロアに複数設置します。	E	

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
79	⑬ その他	鹿児島県民は、運賃を割引したり、障害者手帳提示で割引にしたりするなど出来るはずです。	障害者手帳をお持ちの方及び手帳の種類、区分に応じて必要と認められる介護人の方については、旅客運賃を5割引きにさせていただきます。	E
80		船はあまり利用する機会がない。お金がかかるし。	ご意見として承ります。	E
81		鹿児島県全体の車の渋滞も解決して欲しい。	ご意見として承り、機会がある時に関係機関へ申し伝えます。	E
82		インフラを改善・改良を続けて欲しい。	ご意見として承り、機会がある時に関係機関へ申し伝えます。	E
83		いろいろな外国人旅行者の多さに驚くとともに、15分前後の運航時間のうち、10分程度を挨拶など無料で教え、ある程度人数が集まったら新しいフェリーターミナルのある桜島側で30～50分程度、300人くらいで、初級程度の日本語を教えるクラスを設けてはどうか。	ご意見として承ります。	E
84		よりみちクルーズと船上クルーズ以外は、スタッフと分かる格好をしている人（ボランティアガイド）は、問われないと答えていないようでこれで良いのかと思った。	ご意見として承ります。	E
85		船舶局職員をはじめ、市長をはじめ市の職員も桜島フェリー利用に対する促進、問題点の抽出など経営者側の視点で、まず乗ってみて問題があれば声にして欲しい。	ご意見として承ります。	E
86		桜島港側にバスターミナルを設置し、そこを起点にバスごとフェリーに乗船して鹿児島市内に渡り、そのまま鹿児島市内も乗り降りすることなく行ければ、1回の乗り降りで済み、利便性が増すと思う。	ご意見として承り、機会がある時に関係機関へ申し伝えます。	E
87		経費削減に知力を惜しまず邁進し、利用者の視点に立ち返り、桜島、大隅半島、薩摩半島を全体的視野に入れて、フェリー・バス・電車・飛行機と連携して、人や物流の一貫性を構築して欲しい。	ご意見として承ります。	E
88		鹿児島県の観光、物流の利便性向上に尽力することによりフェリーならびに桜島を県内外、海外の旅行者が気軽に立ち寄れるように船舶局を中心に鹿児島県全体で取組み、観光産業を発展させて欲しい。	ご意見として承ります。	E
89		桜島は、もっと魅力的な存在であると考えますが、船舶だけでなく桜島内の一周左回り、右回りのくるくるバス（乗り降りが楽になる）で、1回100円で利用しやすく、また一日乗車券を500円等に設定すれば、利用客は増えるのではないかと。自転車や徒歩の人にも利用するのではないかと。現在は、全体的に狭い歩道で危険性を感じるし、防災上も問題ではないかと感じます。	ご意見として承り、機会がある時に関係機関へ申し伝えます。	E

番号	項目	市民からの意見等の概要	対応状況	対応区分
90	⑬ その他	桜島と大隅を何の拠点にするのかという考え方が重要だと思います。例えば鹿屋体育大学をスポーツの拠点としてもっとスポーツに力を入れるとか。鹿児島マラソンを桜島や大隅に持って行って活性化させるとか。いろいろ考えられるでしょう。	ご意見として承り、機会がある時に関係機関へ申し伝えます。	E
91		2022年ビジョンは良いと思うが、その前に島内の人が住みやすい環境を整えるべきです。 フェリーの渋滞や運賃等島内に住む人が困らない仕組みを考えて欲しい。通勤・通学にお金をかけすぎないようにして欲しい。島内から離れてしまうこともある。	ご意見として承ります。	E
92		フェリーの渋滞（イベント後）の対応が遅い。溶岩道路でつまって前に進めず、帰る時間が遅くなることもある。 桜島に移住し、どんな不便なことがあるか、しっかり考えて欲しい。 まずは、フェリーの中をきれいにしたい。座る面が汚いと座りたくない。	ご意見として承ります。 イベント時には、警備員を増員するなどの対策を取っているところですが、今後も必要に応じて、誘導等の対策を検討するとともに、繁忙時は、必要に応じて、臨時便を出すなど混雑緩和に努めてまいります。 また、フェリーを快適にご利用いただけるよう船内の巡視・清掃に努めてまいります。	E